

# コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2024年5月1日

1. MMWR : 新型コロナワクチン接種後の若い人々の心臓急性死リスクの検討  
: オレゴン州2021年6月～2022年12月
2. 下水サーベイランス (札幌最新)

## 【松崎雑感】

1. 疫学調査による新型コロナmRNAワクチンの安全性に関する報告です。
2. インフルエンザは終息傾向ですが、新型コロナは、桜が咲いても、結構流行しています。要注意。

# 新型コロナワクチン接種後の若い人々の心臓急性死リスクの検討：オレゴン州2021年6月～2022年12月

Liko J, Cieslak PR. **Assessment of Risk for Sudden Cardiac Death Among Adolescents and Young Adults After Receipt of COVID-19 Vaccine - Oregon, June 2021-December 2022.** *MMWR Morb Mortal Wkly Rep.* 2024;73(14):317-320. Published 2024 Apr 11. doi:10.15585/mmwr.mm7314a5

COVID-19ワクチン接種により、青年および若年成人の心筋炎リスクが増加すると報告されているため、この年齢層におけるワクチン関連の心臓死リスクについて懸念が寄せられている。

2021年4月、COVID-19ワクチン接種後の若い男性（複数）の心筋炎症例がワクチン有害事象報告システムに報告された。

心筋炎とワクチン接種の関連を検討するために、研究者らは、2021年6月から2022年12月の間に死亡した16～30歳のオレゴン州住民で心臓病および原因不明とされた人々の病歴を調査した。

死亡の100日前に新型コロナRNAワクチン接種歴の有無も調査した。

確認された1,292人の死亡者のうち、30人ではCOVID-19が死因だった。

他の101人については、心臓死を除外することができなかった。これらの死亡者のうち、88人の予防接種情報システムの記録が利用可能であり、そのうち3人は死亡前100日以内にmRNA COVID-19ワクチン接種を受けていた。

mRNA COVID-19ワクチンを接種した人の死亡40例のうち、3例はワクチン接種後100日以内に発生していた。これらの死亡のうち2件は基礎疾患によるものであり、他の一人の死因は不明だった。

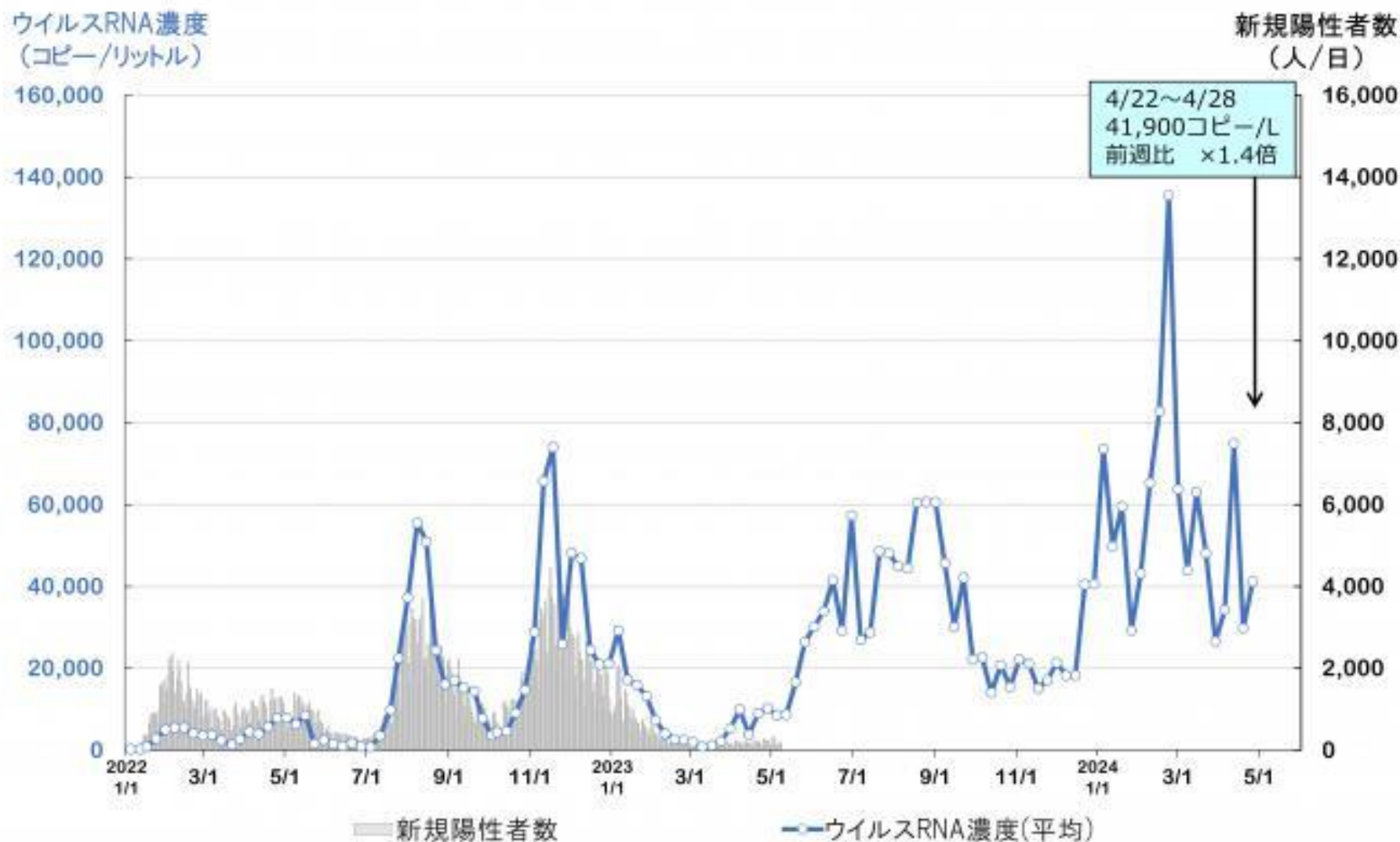
これらの人々の死亡診断書では、ワクチン接種が死因と述べたものはなかった。

今回のデータは、健康な若年者におけるmRNA COVID-19ワクチンの接種が心臓突然死を増やすという主張を否定している。

ちなみに、COVID-19ワクチン接種は、COVID-19および死亡を含む合併症を予防するために、生後6か月以上のすべての人に推奨されている。

新型コロナウイルス濃度は前週から増加して高い水準を継続しており、引き続き注意が必要です。

下水サーベイランスの結果（新型コロナウイルス）



インフルエンザA型ウイルス濃度は前週から減少しています。

### 下水サーベイランスの結果（インフルエンザウイルス）

